# 2004年1月の格言

**明けましておめでとうございます。**
**旧年中のご厚情を深謝し**
**本年も倍旧のお引き立ての程お願い申し上げます。**

| ＊平成１６年は・・・・・ | |
|---|---|
| × | × |
| × | × |
| | **の年となります！** |

「甲申」（こうぼくのさる・きのえのさる）とは・・・・
干支歴より定められた１０種類の「干」と１２種類の「支」の組み合わせ
によるもので、その最少公倍数「６０」を持って一巡をする中の１種であります。
「こうぼく・きのえ」　→　木星の陽　　方角「東方」　　季節「万物が動き始める春」
→　深山幽谷に生えている樹木を意味する
「甲」　→　特徴は樹木の形に見習い幹が脇目も振らずに
一途に空へ向かって伸びてゆく様を描いております。
また樹木は、生きている時には成長を
切り離されてからは、成長はないものの「能材」（役に立つ材料）となり
人々の生活に役に立つとの意。
＊１つの目標に向かって、大いに前進を遂げると共に途中から目的や用途が
違い、方向を変えて行くと言う感じがあります。
目的を変え、かなりの変化が出てくる感じです。
この平成１６年の年の干である「甲」の文字の解説です。
「甲」一種の鱗を描いたもので、のちに種を取り巻いた硬い殻を描いた象形文字。
鎧をつけた高木の芽がその殻を破って頭を出し始めるとの意。
＊最初の干（１０干の中で一番最初の干支である）
平成１６年からは、今までの動きが一段落して新たな時代が始まる事を
意味しております。これから始まる１０年間の日本を決める新しい芽生えが
始まる年です。
＊国家・企業にあたっては。。。。
トップの一途な動き、強く逞しいリーダーシップが組織の新しい骨格を
描いて行くようになるのでしょう！
＊一家にあたっては。。。。
主人の一途な考え方が、その一家の今後の１０年間の動きを左右する。
陽の干支　→　海外の問題
陰の干支　→　国内の問題　が多く持ちやすい傾向にあります。
◎　平成１５年　「癸羊」（陰の干支の年）
りそな銀行の国有化などの銀行関係の問題
自民党の総裁選・道路公団総裁問題
政治経済の国内問題が多く出た年でした。
◎　平成１６年　「甲申」（陽の干支の年）
海外の問題が多く発生する傾向があると考えます。
年の干支「申」　方向：西方
金星　→　刃物や武器・工具など　ものを切ったり変化させたりする。
そして感情よりも理性で動くドライな世界。
動乱・攻撃・行動　またリスクがあっても前進する世界。
「甲」　文字の上から解釈をすると、もともと稲妻を描いた象形文字。
「電光」と言う文字の「電」のもともとの文字です。
その後、真中にある１つの縦線を抑える形となり、手でまっすぐに
伸ばすこと。ニンベンをつけて「伸」と言う文字になりました。
「甲申」・・・イメージとして、金の斧が大木を切り倒す。
と言うような年となりように思います。
あらゆる分野において、競争は益々激化し、力のないもの・筋の通っていない
ものは伐採される感じがあります。その内容は下克上よりももっと激しいもの
となるでしょう。今までの価値観を根底から覆して大胆に切り離す。
また枝葉などは切り落とす。無駄なもの・飾り付けた余分なものは切り捨てて
幹や根っ子。すなわち、ものの根幹だけを大切にして再構築する時代。
もし枝葉末節にこだわり、執着していたら完全に時代に取り残されてしまいます。
樹木と言うものは、春から夏にかけて根から栄養や水分を取り入れて大きく成長。
そして、枝や花を咲かせ実を宿します。秋には成長した実を落とし、葉も紅葉する。
春から夏にかけては、樹木のエネルギーは根や幹よりも末端の葉や枝に
集まりますが、これに対して秋や冬の厳しい季節になりますと、枝や葉よりも
根や幹に戻ってきます。平成１６年は、表面上や葉や枝に目を奪われる事なく
むしろ枝葉を離れて、全エネルギーを根や幹に集中させるべきです。
物事に根本を見つめ直す時なのです。

| 過去の「甲申」 | | |
|---|---|---|
| ＊昭和１９年（１９４４） | | |
| □ | １月 | 女子艇身体が結成され、学童強制疎開が始まる |
| □ | ３月 | 日本軍がインタール作戦を開始し、北樺太の石油・石炭利権をソ連に委譲 |
| □ | ６月 | 米軍がサイパンに上陸<br>中国の基地からの爆撃機によって九州が食う主を受ける<br>北海道で噴火によって昭和新山が誕生 |
| □ | ７月 | インタール作戦の失敗　・サイパン玉砕　・東条内閣が総辞職 |
| | | ・・・それ以降・・・<br>テニアン島の玉砕。グアム島玉砕。レイテ沖の海戦で連合艦隊の主力を<br>失う。マリワナ基地のB29が東京を初空襲をする<br>翌年の敗戦を控え、日本国の政治的・経済的状態が急激に悪化した<br>実に厳しい年となりました。 |
| １２２４年 | | 北条泰時が失権となり鎌倉騒動が起こり、北条正子が鎮めました |
| １５８４年 | | 秀吉が家康軍に長久手の戦いに敗れる |
| １８８４年 | | 昭和１７年　群馬県の農民が自由党員と組んで放棄した群馬事件。<br>秩父地方の農民や自由党左派による負債返済。<br>専制政治改革を訴えて放棄しましたが、軍部によって鎮圧される秩父事件。 |
| | | ＊家族例を定めて公爵・伯爵・子爵・男爵の５等の爵位が決定。<br>負債返済・専制政治の改革を求めた市民の放棄。<br>時代は変わっても、この時代は庶民が苦しむ時代なのかもしれません。 |
| | | その一方で爵位を取る階層もあり、二極文化が顕著なところに<br>時代の類似性を感じます。 |